

「無線局事項書及び工事設計書」の記載要領 (P2)

平成15年改正・電波型式新旧対照  
 旧 → 新(平成16年1月13日から)  
 A3J → J3E    A3 → A3E  
 F3 → F3E    A1 → A1A  
 F2(バケット通信、DTMF) → F2D  
 F5(SSTV) → F3F

「発射可能な電波の型式及び周波数の範囲」は、電波の型式と周波数帯の関係が明確であるように記載してください。

技術基準適合証明・認証を受けている(いた)送信機は、その筐体に貼付されている証明ラベルに記載されている記号番号を記載してください。技術基準適合証明・認証番号以外の方は、記載しないでください。

電波型式と変調の方式の関係が明確であるように記載してください。

周波数帯によって終段管や定格出力が異なる場合は、その関係が明確であるように記載してください。

変更申請の場合、個々の送信機ごとに該当する種別にシ印を付けてください。開局の場合は、関係ありません。

技術基準適合証明がスプリアス発射の強度について旧基準である場合も、新基準に合致するよう措置または確認して保証を受ける場合は、証明番号を記載し、発射可能な電波の型式等の記載は省略することができます。

移動する局の場合は、記載を要しません。移動しない局の場合は、使用するアンテナの型式を記載してください。

記載上の注意  
 24MHz帯以下でのダイポール、垂直型、GP等はそのままの名称で記載してください。(28MHz帯以上ではこれらを「単一型」とまとめても支障ありません。)

装置の区別	変更の種別 <input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	技術基準適合証明番号	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	変調方式	終段管		定格出力 (W)	
					名称個数	電圧		
第1送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	KX87654321	技術基準適合証明・認証を受けている(いた)送信機を、そのままの状態で使用する場合、この欄の記載は省略することができます。					
第2送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	002KN123	F3E 144MHz帯, 430MHz帯	リアクタンス変調	3W: 2SK2595 × 1 20W: 144MHz帯: M68750 × 1 430MHz帯: M68751 × 1	3W: 9.0 V 20W: 13.8 V	3 20	
第3送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	技術基準適合証明番号以外のもの(型名・JARL登録番号など)は記載しないでください。	A3E J3E { 3.5MHz帯, 3.8MHz帯, 7MHz帯 21MHz帯, 24MHz帯 A3E F3E J3E 28MHz帯, 50MHz帯	A3E: 低電力変調 F3E: リアクタンス変調 J3E: 平衡変調	28MHz帯以下 2SC2509 × 2 50MHz帯 M57735 × 1	13.8 V	10	
第4送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	TRX-279	F3E J3E 144MHz帯, 430MHz帯, 1200MHz帯	F3E: リアクタンス変調 J3E: 平衡変調	144MHz帯: M57713 × 1 430MHz帯: M57716 × 1 1200MHz帯: M57762 × 1	13.8 V	10	
第5送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		A1A, G1B: 1.9MHz帯 A1A: 4630kHz A1A, A3E, J3E, F1B { 3.5MHz帯, 7MHz帯, 14MHz帯 F1D, F3F, G1B, G1D { 18MHz帯, 21MHz帯, 24MHz帯 A1A, A3E, J3E, F3F: 3.8MHz帯	A3E: 低電力変調 F3E: リアクタンス変調 J3E: 平衡変調	50MHz帯以下: RD70HV1 × 2 144MHz帯以上: RD70HV1 × 1	13.8 V	28MHz帯以下: 50 50MHz帯: 10	
第6送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		A1A, A3E, F3E, J3E: 1.9~50MHz帯					
第7送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		A1A 1.9MHz帯 A1A A3E { 3.5MHz帯, 3.8MHz帯, 7MHz帯 J3E { 18MHz帯, 21MHz帯, 24MHz帯	A3E: 低電力変調 F3E: リアクタンス変調 J3E: 平衡変調	28MHz帯以下: 2SC2509 × 2 50MHz帯: M57735 × 1	13.8 V	10	
第8送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		A3E F3E J3E 28MHz帯, 50MHz帯					
第9送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更							
送信空中線の型式					周波数測定装置の有無			<input checked="" type="checkbox"/> 有 (誤差0.025%以内) <input type="checkbox"/> 無
添付図面					その他の工事設計			<input checked="" type="checkbox"/> 法第3章に規定する条件に合致する。

技術基準適合証明・認証を受けている送信機も、送信ブースタや画像通信などのための附属装置を使うときには、証明ラベルの番号だけでなく、発射可能な電波の型式から定格出力までの全ての事項を記載しなければなりません。

このような書き方では不可です  
 無線従事者免許資格で操作する事が出来ない周波数や電波型式と周波数帯の組み合わせに許容されないものがあるようにも解釈できること等の不都合があり不都合です。

周波数帯や出力によって終段管が異なる場合、名称個数の他、関係する周波数帯を併記してください。

周波数や電波型式と周波数帯の組み合わせに許容されないものが生じないように区分して記載してください。

24MHz帯以下の周波数帯での空中線電力が10Wを超える局は、周波数測定装置またはこれに代わるものが必ず必要です。その場合は、条件に適合することを確認した上で「有」にシ印してください。

一つの欄に書ききれない場合は、二つ以上の欄をまとめて1台分として使ってもかまいません。

直接総合通信局等に申請する場合(技術基準適合証明・認証を受けた送信機を除く。)及び附属装置を使用する場合は、送信機系統図が必要です。提出する場合は、この欄でシ印して添付していることを表示します。TSSで保証を受ける場合、送信機系統図等は保証のための資料ですから、ここにはシ印しないでください。

送信機の欄に記載した以外の事項(過熱、高圧電気・雷対策、受信機からの電波洩れなど)についても、電波法第3章の技術的条件に適合することを、この欄でシ印することにより宣言します。

あなたのアマチュア無線を応援します!

**TSS 保証事業部**

<http://www.tsscom.co.jp/>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-11-1  
TEL 03-6261-3686